

PIG用ボールバルブ

CH1(PG)
HY1・HY2 型

ピグシステム対応

- CH1(PG)
- CH1(PG)-AD
- CH1(PG)-AS
- CH1(PG)-TD
- CH1(PG)-TS
- HY1・HY2
- HY1-AR
- HY2-AR

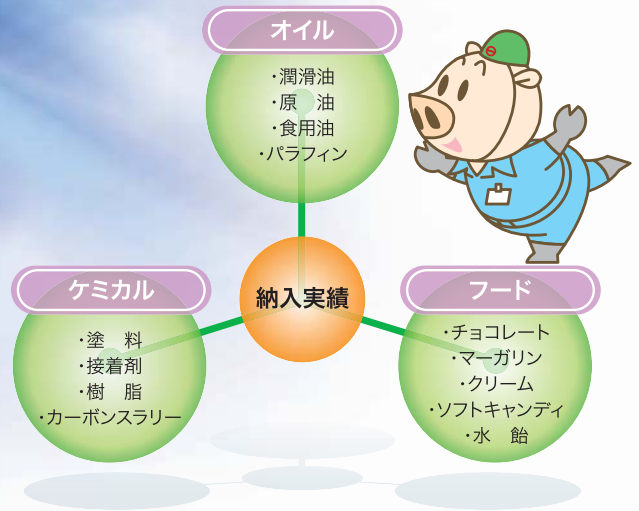
環境に配慮

ピグシステムに
対応



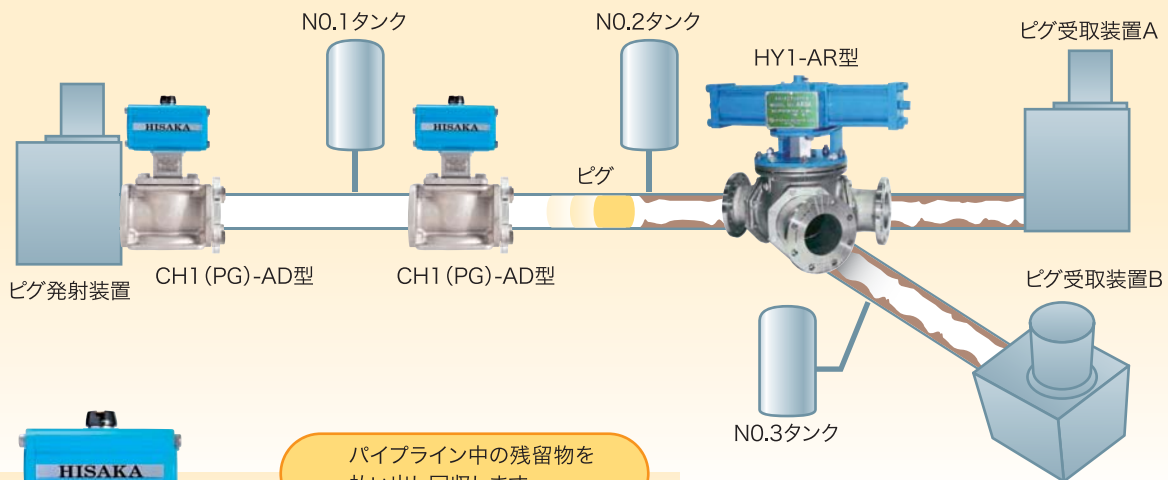
製造ラインの歩留まりアップや 環境に配慮した ピグシステムに最適なバルブを ご提供いたします。

「パイプラインを敷設したいが、送る原料ごとにラインを引くのは、経済的にもスペース面でも厳しくて・・・。」
「食品を扱っているから、原料を送るパイプの洗浄が大変で・・・。」原料の歩留まりアップや、ライン洗浄の負担軽減、環境負荷の低減など、製造ラインが抱えるさまざまな悩みから、ピグラインの需要が高まっています。日阪製作所では、そんなピグラインの効率的な運用のために、ピグライン専用のバルブをご用意しています。



■ シャトルピグを使った自動化ラインの一例

スラリー・油脂などに



パイプライン中の残留物を払い出し回収します。



口径と同サイズの接続、フランジ JIS10Kとなります。



2種類以上の流体を1本のパイプラインで送り別々のタンクに回収します。

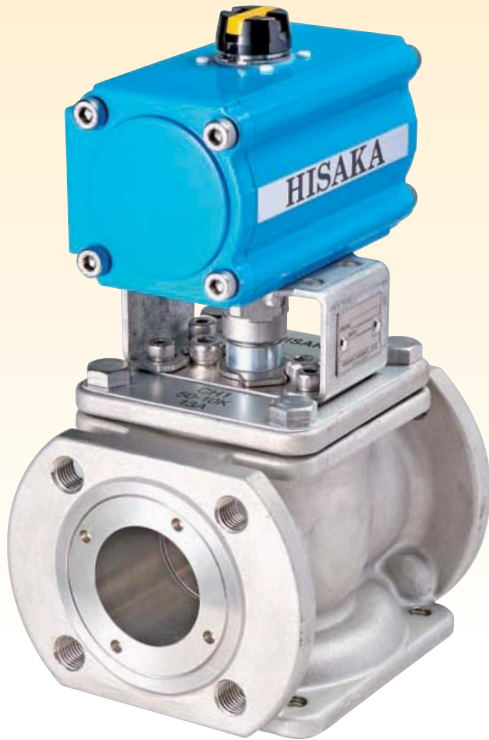


■ 二方弁 (CH1 (PG)型)

Sch10S配管でのご使用を前提としたポート径となっています

フルボアのボールバルブなので、配管内の清掃を目的としたピグシステムに最適で、ピグ径にあわせてバルブのポート径をお選びいただけます。

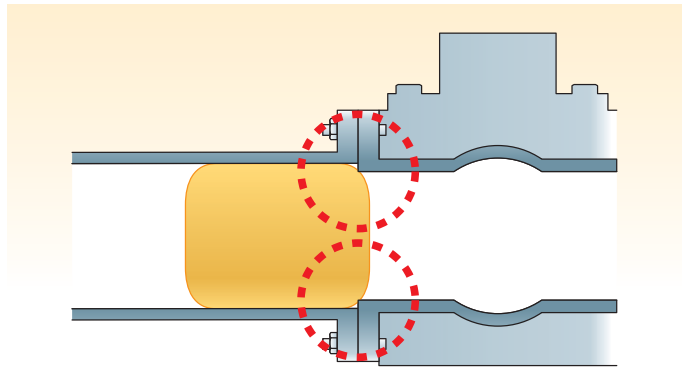
CH1 (PG)-AD型



■ バルブポート径と配管内径の比較

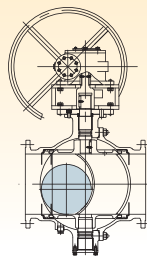
| 口径 | CH1 (PG) ポート径 | SUS鋼管 Sch10S | SUS溶接管 Sch10S |
|-----|---------------|--------------|---------------|
| 40A | φ43.0 | φ43.0 | φ42.6 |
| 50A | φ55.0 | φ54.9 | φ54.5 |
| 65A | φ71.0 | φ70.3 | φ70.3 |
| 80A | φ83.0 | φ83.1 | φ83.1 |

■ バルブと配管に段差が生じるとピグが詰まる原因になります



■ ピグ落とし用にも対応いたします。

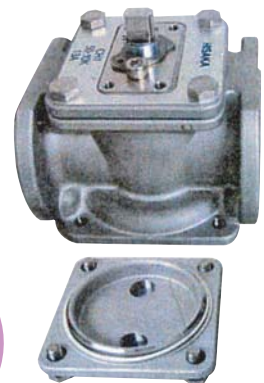
- ピグを落とす、または回収するためボールの形状が特殊となっており、180度回転でピグを落とします。



オプション

■ ステンレス製ボルトオンジャケット

バルブ下部にジャケットフランジをボルト止めする構造で、バルブ下部のみを温めますので、加熱しすぎることがなく、固まりやすい食品流体などのピグラインにお使いいただけます。

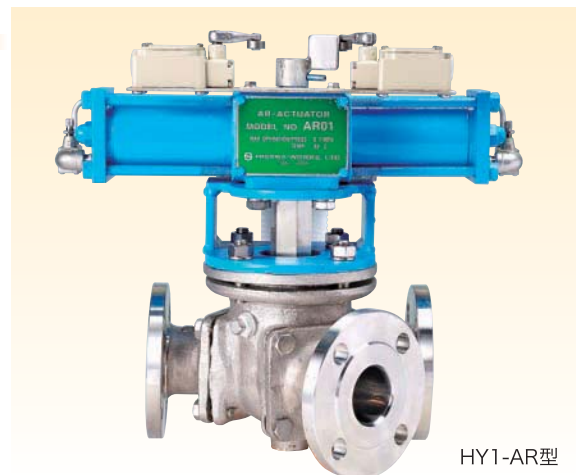
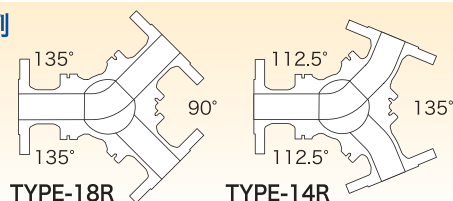


固まりやすい食品流体に

■ 三方弁 (HY1・HY2型)

流路における曲率半径が大きく(ロングエルボ曲率半径と同等以上)、圧力損失が少ないY型三方ボールバルブで、ピグの切り替え操作が可能となります。

■ 流れ方向例



HY1-AR型

詳細についてはお問い合わせください。

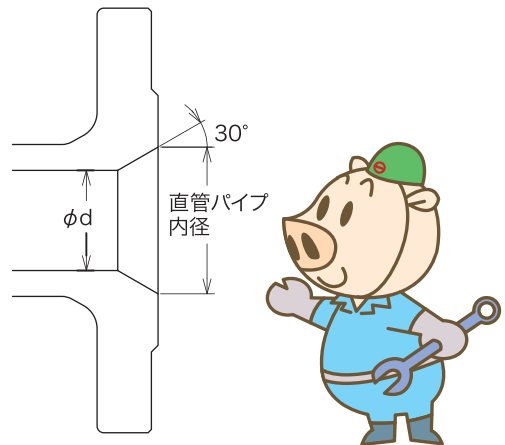
⚠ 注意事項

● ご使用の際は必ず弊社取り扱い説明書をご一読ください

直管パイプ内径とボールバルブ内径の寸法が違う(バルブ内径の方が直管パイプの内径より小さい)場合、ボールバルブ内径のサイズアップ加工が必要となります。一般的な配管サイズ別のゴム製ピグ通過可能許容寸法は下記の通りです。

- ・40A～65A 直管パイプ内径より1.5mm内
 - ・80A～150A 直管パイプ内径より2.0mm内
 - ・200A～300A 直管パイプ内径より3.0mm内
- ※ピグの材質や形状により許容寸法は異なります。

バルブ内径が小さい場合、接続フランジ面は直管パイプ内径に合わせるように、テーパ加工が必要となります。



■ ISO14001 認証登録事業所
■ ISO9001 認証登録事業所

■ 高圧ガス大臣認定試験者事業所

バルブ事業本部

■ バルブ 営業部 〒530-0057
大阪府大阪市北区曾根崎2-12-7(清和梅田ビル20F)
TEL(06)6363-0050(代) FAX(06)6363-0162 652

■ 東京支店 〒104-0061 (丸2F)
東京都中央区京橋1-19-8(京橋0Mビル2F) TEL(03)5250-0770(代) FAX(03)3562-2759

www.hisaka.co.jp

✉ valve_info@hisaka.co.jp

● 製品の改良のため予告なく仕様の変更を行う場合がございます。

2013.05.2000 M